



お、わぐ 広報

大和久福社会だより 第160号

令和八年度年頭のご挨拶

理事長 網野 榮



爽やかな風が吹き抜け、新緑がまぶしい季節を迎え、皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

令和八年度の始まりにあたり、日頃より当法人への温かいご理解と多大なるご支援を賜っておりますことに、心より敬意と感謝を申し上げます。また、昨年は無事に創立六十五周年を迎えることができました。改めて保護者並びにこれまで支えてくださったすべての皆様に御礼申し上げます。

さて、福祉を取り巻く環境は年々厳しさを増しております。少子高齢化の進展に伴い、障害者支援施設においては人材の確保と育成が急務となつているほか、昨今の物価高騰や賃金上昇などが法人運営に大きな影響を及ぼしています。しかし、どれほど時代が変わろうとも、私たちの最大の使命は、利用者一人ひとりの尊厳を守り、安心・安全に暮らせる

場所を守り抜くことであります。利用者、保護者、そして地域関係者の声に誠実に向き合う姿勢こそが重要です。

そこで令和八年度は、次のことを重点的に取り組むこととします。

① 質の高いサービスの提供

令和八年度からの意思決定支援の義務化に伴い、利用者の意思決定の尊重を基本に据え、ニーズや障害特性に応じた個別支援計画を策定し、質の高いサービスを提供する。

② 適正な定員管理

公定価格制度を踏まえ、各部署連携のもと稼働率の向上を図ることにより、適正な収益を確保する。

③ 働きやすい職場環境の整備

職員が安心して働ける環境を整え、福祉人材を確保する。

利用者の笑顔は、私たち職員にとって最大の原動力です。そして、職員が元気に笑顔で働けることが、利用者の幸せに直結します。その笑顔の一つでも増やせるよう、ともに頑張りましょう。

結びに、皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしました度初めのご挨拶とさせていただきます。本年度も変わらぬご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

卒業・入学おめでとう

この春、大和久学園では小学部一名、中学部三名、高等部一名が特別支援学校を卒業しました。高等部の卒業生にとつては、たくさん学び、遊び、慣れ親しんだ南那須特別支援学校に別れを告げる、大きな節目となりました。



これからは大和久学園で多くの希望が叶えられるよう、職員一同で応援していきます。また新年度には、特別支援学校の小学部に一名、中学部に一名、高等部に三名が新たに入学しました。新しい生活に胸を躍らせつつ、緊張した面持ちで臨んだ入学式から一ヶ月が経ち、今では「たたいま」「学校楽しかった」と弾んだ声で帰ってくる新入生の姿に日々の成長を感じています。これからも毎日わくわくしながら登校できるよう、一緒にがんばっていきましょう。

皆さん、ご卒業、ご入学おめでとうございました。

大和久学園 児童指導員兼生活支援員

桐原 倫太郎

いっぴいパンまつり

新装となったいっぴいパンの建物で、二回目となる「いっぴいパンまつり」を三月八日に開催しました。

当日は朝から強い春風が吹き、来場者数を心配しておりましたが、ご協賛いただいた(株)アミノ様、市内就労支援事業所、地域生産者の皆さまの出店協力に加え、レジや駐車場の増設、会場までのシャトル運行もあり、常連のお客様をはじめ、小さなお子様連れの方など多くの皆さまにお越しいただくことができました。今回、ご用意した商品は、より多くの方にお買い求めいただきたいという思いから、パン製造を担う利用者さんが中心となり、特に人気の高い四十種類、約一九〇〇個を準備しました。おかげさまで全て完売し、風の冷たさを忘れるほどの賑わいとなりました。

いっぴいパンまつりは、お客様への感謝をお伝えするとともに地域の皆さまとのふれあいの場とすることを大きな目的としています。このイベントが多くの方々のご協力のもと、無事に成功したことに心より感謝申し上げます。今後も利用者さんが丁寧につくるパンをお楽しみいただければ幸いです。引き続きよろしくお願いたします。

サービス管理責任者 手塚 祐子



管理棟外壁塗装工事

当法人の管理棟は、施設運営に関する書類の保管をはじめ、法人内外の打合せや研修会場として活用しているほか、施設利用者の面会やイベントの開催場所として幅広く利用しています。



しかし、数年前から建物の各所で雨風が強い日に雨漏りが発生するようになりました。施工業者に建物の検査を依頼したところ、外壁のひび割れやサッシ周りのシーリング材の劣化が原因であることが判明しました。このまま放置すると建材の腐敗や電気設備の損傷につながる恐れがあるため、この度、外壁の修繕工事に着手しました。建物外周に足場を設置し、約一か月の工期を経て修繕工事は無事完了しました。

併せて管理棟玄関先の色合いをピンクからエメラルドグリーンへとリニューアルし、明るく爽やかな雰囲気生まれ変わりました。今後も利用される皆さまが安心して過ごせる環境づくりに努めてまいります。

管理課課長 二見 靖彦

二十歳の門出を祝って



このたび、グループホーム太陽の家の岩淵比佐人さんが、めでたく二十歳を迎えました。南那須特別支援学校の同級生と親の会が主催した祝賀会に参加し、級友やお世話になった先生方との再会を喜び合いました。そして会の結びには、壇上で「チャレンジすることを諦めない。」と力強く宣誓しました。その姿はとても立派で、これからの歩みを力強く感じさせるものでした。

とりわけ心温まる場面となったのは、大和久学園で幼い頃から共に育ち、長い時間を同じ屋根の下で過ごした仲間と久しぶりに顔を合わせたことでした。今はそれぞれ別の場所で暮らしていますが、祝う会が終了したあと、当法人に立ち寄ってくれました。幼い頃から支え合ってきた三人が、再び肩を並べて笑い合い、記念撮影をする姿は、当時の絆が今も変わらず続いていることを物語っており、彼らの成長を見守ってきた職員にとっては胸が熱くなるほど嬉しい光景でした。

これからも周囲の方々との絆を大切にしながら、さまざまな経験を重ね、さらに活躍することを心より願っています。本当におめでとうございます。

グループホーム太陽の家 サービス管理責任者 宮内 勝子

ライフケアおおわぐ お楽しみ会

今年度最初のお楽しみ会は、ワゴン車三台に分乗し、高根沢町宝積寺にある鬼怒グリーンパークへ出かけました。

当日は曇り空でしたが、新緑のパーク内を散策し、可憐に咲くネモフィラの淡い水色に心癒されるひとときを過ごしました。休憩時間には、皆さんが思い思いに好みのお菓子やジュースを手に、気の合う仲間と楽しそうに談笑する姿が見られ、戸外で過ごす時間の大切さを改めて感じました。

これからも利用者さんの優しい表情がより多く見られるような計画を立てていきたいと思えます。

大和久学園ライフケアおおわぐ 生活支援員 須藤 進一



特集



私を見て！

第三十二回 大和久学園 S・Mさん

ぼくは、走ることが大好きでマラソン大会や障害者スポーツ大会に向けて、練習をしています。走るの楽しいですが、つらいことややるしいこともあります。それでも学校から帰ってきたあとや休みの日に練習をつづけています。まいにちがんばっているぼくを応援してください。

お正月には矢板たかはらマラソン大会に出て、五キロを二十六分四十六秒で走りました。これからもいろんな町や市のマラソン大会に参加していきますので、よかったですらみなさんもぼくといっしょに走りましょう。



第二十九回 保護者会交流研修会

令和八年三月十五日、コロナ禍を経て六年ぶりに保護者会交流研修会を開催し、当日は四十二名の保護者様にご参加いただきました。

前半は、菊地常務理事より「見えない敵と向き合い続けた日々 ～新型コロナウイルス感染症との闘い～」をテーマに、当法人がコロナ禍で取り組んできた感染症対策や施設内での感染状況についてご報告いたしました。長期にわたる対応の実情を共有する貴重な機会となりました。

後半はグループ討議を行い、保護者様から日頃の疑問やご意見を伺いながら、率直な意見交換を行うことができました。いただいたご意見は、今後の支援や施設運営の参考として活かしてまいります。

大和久育成園 けやき サービス管理責任者 板倉 巽



職員の動き

1. 採用 (令和7年度)

- (1) 岡崎亜紗美 (R7.9.1) 大和久育成園 生活支援員
- (2) 後藤 杏奈 (R7.11.1) ホームヘルプわらび ヘルパー
- (3) 小峰 正行 (R8.1.1) 就労支援事業所いっぴ 職業指導員

2. 退職 (令和7年度)

- (1) 岡崎亜紗美 (R8.1.31) 生活支援員 (勤続5ヶ月)
- (2) 吉澤 建一 (R8.3.31) 相談支援専門員 (勤続18年1ヶ月)
- (3) 渡邊 圭子 (R8.3.31) サービス管理責任者 (勤続17年)
- (4) 小林 咲希 (R8.3.31) 職業指導員 (勤続8年)
- (5) 横嶋 光子 (R8.3.31) 生活支援員 (勤続4年5ヶ月)
- (6) 荒牧 俊晴 (R8.3.31) 調理員 (勤続2年2ヶ月)

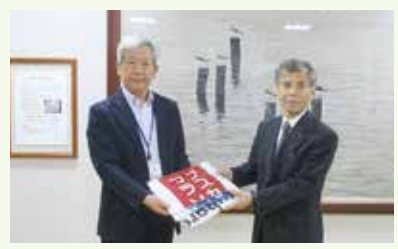
3. 採用 (令和8年度)

- (1) 小堀 愛莉 (R8.4.1) 大和久学園 保育士兼生活支援員

寄贈・寄付 令和8年1月1日～令和8年3月31日

- ・(株)玉ちゃん餃子(那須烏山市) …………… 餃子
- ・那須烏山市スポーツ大会実行委員会(那須烏山市) …………… スポーツタオル

敬称は省略させていただきます。皆様のご厚意ありがとうございます。



市スポーツ大会実行委員会様(金枝 好光会長:右)よりスポーツタオルをいただきました

- ・カーブス那須烏山(那須烏山市) …………… 食品、調味料等
- ・安楽寺(那須烏山市) …………… 金200,000円
- ・大和久福祉会後援会(那須烏山市) …………… 金600,000円

寄贈・寄付 ありがとうございます

発行責任者 那須烏山市南大和久956-2 社会福祉法人 大和久福祉会 施設支援施設長 菊地裕子 後援 大和久福祉会後援会 大和久福祉会保護者会 TEL 0287-88-2041 FAX 0287-88-9696 Email oowagu2041@proof.ocn.ne.jp

このたび、「広報紙おわぐ」第一六〇号を無事に発行できましたことを心より感謝申し上げます。日々の法人の取り組みや利用者の皆さんの笑顔を届けてくださるの、支えてくださる多くのの方々のおかげです。今回の紙面が、皆さまにとって施設の今を身近に感じていただける一助となれば幸いです。

広報紙編集委員会

編集後記

木々の緑がいつそう鮮やかさを増し、初夏の気配が心地よく感じられる季節となりました。皆さまにはお変わりなくお過ごしでしょうか。